

病虫害発生予察情報

5 月月報

平成 21 年 6 月 18 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況

2008 年 5 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		本年	平年比 (%)	本年	平年比 (%)
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	23.0	1.3	13.8	1.6	18.2	1.3	68	213	55.2	103
中旬	24.5	2.4	14.9	1.8	19.8	2.3	4	8	59.0	121
下旬	24.0	0.3	16.1	1.6	18.1	0.1	132	367	45.1	70
平均	23.9	1.4	14.9	1.6	19.2	1.4				
合計							204	174	159.3	95

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979~2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上旬は高く、中旬はやや高く、下旬は平年並みであった。

降 水 量：上旬は多く、中旬はかなり少なく、下旬はかなり多かった。

日照時間：上・中旬は平年並みで、下旬はやや少なかった。

< 天候概況 >

上旬：初めと終わりは高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、5日~8日は低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨となった。

中旬：高気圧と低気圧が交互に日本付近を通過したため、天気は数日の周期で変化した。

下旬：この期間は低気圧の影響を受けて曇りや雨の日が多かった。特に24日から25日にかけてと28日から29日にかけては上空に寒気を伴った低気圧の影響により大雨となった。

2 作物生育概況

(1) 果菜類・豆類：半促成のトマト、露地トマト、キュウリの生育は順調であったが、ナスは一部の地域で生育が若干遅れた。スイートコーンは概ね順調である。エダマメは気温が高めに経過したため生育がやや進んでいる。

(2) 葉菜類：キャベツは出荷が始まっている。概ね順調であるが、一部の品種では裂球がみられた。コマツナ、ホウレンソウなどの軟弱野菜、ブロッコリーの生育も概ね順調である。ダイコンは概ね順調であるが、一部では乾燥の影響で根部の品質が低下した。タマネギは収穫期をむかえたが、本年は抽だいの発生が多い傾向であった。

(3) イモ類：サトイモの生育は概ね順調である。

(4) 果樹

開花始・盛ともに早まった(2.8~9.8日)。

ブドウ：農総研の果樹圃場(灰色低地土)におけるブドウ‘高尾’の開花期と平年差(カッコ内)は以下のとおり。

巨峰：開花始 5/24 (-5.4日)、開花盛 5/28 (-2.8日)

安芸クイーン：開花始 5/25 (- 5.7 日)、開花盛 5/28 (- 4.8 日)

高尾：開花始 5/18 (- 9.8 日)、開花盛 5/23 (- 7.8 日)

カキ：農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるカキ主要品種の開花期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

次郎：開花始 5/15 (- 6.6 日)、開花盛 5/17 (- 7.6 日)

松本早生：開花始 5/16 (- 9 日)、開花盛 5/19 (- 8.4 日)

平核無：開花始 5/12 (- 4 日)、開花盛 5/14 (- 6 日)

東京紅：開花始 5/14 (- 5.9 日)、開花盛 5/17 (- 5.9 日)

(5) 茶 樹

摘採期は、1～3日早かった。4月下旬の遅霜の影響により収量はやや少なかった。

3 病虫害の発生概況

(1) イネの病虫害

(2) 果樹の病虫害

ナ シ

赤星病	< 並 >	発生は平年並であった。
黒星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
疫病	< 多 >	発生は多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
カメムシ類	< やや多 >	予察灯およびフェロモントラップにおける誘殺数は平年に比べやや多から多であった。ナシ園飛来は確認していない。
ハマキムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

カ キ

カキクダアザミウマ	< 少 >	発生は少なかった。
キウイフルーツ		
キウイヒメヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 茶樹の病虫害

カンザワハダニ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノホソガ	< 並 >	発生は平年並であった。

(4) 野菜の病虫害

ジャガイモ

疫病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 並 >	発生は平年並であった。
トマト（施設・半促成）		
モザイク病	< 並 >	発生は平年並であった。
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
葉かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
白ぶくれ症	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
キュウリ		
褐班病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナス		
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
白さび病	< 並 >	発生は平年並であった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ナモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ(施設)		
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 少 >	一部で多く発生したが、 全体的には少なかった。
ネギ		
さび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
キャベツ		
菌核病	< 少 >	発生は少なかった。
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
モンシロチョウ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
野菜共通の病害虫		
ネキリムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
(5)花きの病害虫		
キク		
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

キクスイカミキリ < 並 > 発生は平年並であった。
 花き共通の病害虫
 灰色かび病 < 並 > 発生は平年並であった。

(6) 植木の病害虫

ツバキ・サザンカ
 チャドクガ < やや少 > 発生はやや少なかった。
 ケヤキ
 ケヤキヒゲマダラアブラムシ(ケヤキ) < 少 > 発生は極めて少なかった。

(7) 島しょの病害虫

大島：アシタバでアブラムシ、フキバッタ、ガーベラでうどんこ病、トルコギキョウでアザミウマ類の発生が多かった。

三宅島：昨年ツバキで多発したハスオビエダシャクの発生が極めて少なかった。

八丈島：全体としてカタツムリおよびカイガラムシ類が多かった。その他キリ葉類では口ペでエダシャク類とミドリヨコバイおよびかつもん病、野菜類でヨトウムシ類とアブラムシ類、アシタバではスモンヨトウが多かった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	5月11日	6月12日	0	0
大田市場	5月11日	6月12日	0	0
板橋市場	5月11日	6月15日	0	0
淀橋市場	5月11日	6月15日	0	0
足立青果市場	5月11日	6月15日	0	0
小平青果市場	5月8日	6月8日	0	0
八王子北野市場	5月8日	6月8日	0	0
昭島市場	5月8日	6月8日	0	0
国立市場	5月8日	6月8日	0	0
東久留米市場	5月8日	6月8日	0	0

テレフォンサービス

0 4 2 (5 2 5) 8 4 0 7

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報，発生状況，防除方法
 などをお知らせしています。